

保育サポートシステム通信 vol.4



「長崎県医師会保育サポートシステム」のサポーターや、子育て中の医師をつなぐ広報紙です。関係者の皆様に有益な情報を提供するとともに、よりよいシステムにしていくための情報交換の場になればと考えております。



ひとことメッセージ

ただいま利用中！



長崎県医師会男女共同参画委員
長崎大学病院移植・消化器外科助教
同科 ワークライフバランス推進員

崎村 千香

私は現在、7歳と0歳の子育て真っ最中です。最初の出産では、保育サポートと言えば保育園くらいしか思いつきませんでした。実際、子育てをしてみるとお願いしたいサポートがむくむく思い浮かんできます。医者になった当時は、理解のある旦那さんさえいれば、仕事と家事や子育ての両立なんて何とかなるでしょう、と思っていたのに甘かった・・・(ちなみにうちの夫はとも理解がありますよ！)。

本システムには立ち上げから関わらせて頂いております。家族を含めた周りの人の存在、仕事の内容など、子育てをする人の背景によって必要とするサポートは様々です。そのような要望にそったサポートができるよういろいろな意見を述べさせて頂きました。

そして、現在、利用させてもらっています。細かいニーズにも対応してもらえて、一度、利用するとやめられません！！サポートして下さる人がいるという安心感が余裕を生みます。余裕がプライベートや仕事の充実にもつながります。子育てにおいて、他人に頼ると言うことは決して悪いことではありません。是非とも一緒に利用して、充実した生活を過ごしませんか。

利用対象病院を拡大しました

長崎大学病院に勤務している医師を対象にスタートした当システムは、平成27年7月から長崎市、西海市、長与町、時津町(長崎医療圏)の病院に勤務している医師へと対象を拡大しました。

【現在の申し込み状況】 長崎大学病院 27名
長崎医療圏内の5病院 各1名

常勤・非常勤・修練医・研修医であれば男女を問いません。
配偶者が専業主婦/主夫の場合でも利用できます。
サポートを受けるお子様の年齢制限はありません。

「子育て医師のための 保育サポートHAND BOOK」を作成しました。

子育て中の医師の「サポート情報が手元にあると便利」という声にお応えし、各自治体や施設のホームページを参考に、それぞれの情報をまとめて掲載しました。保育サポートシステムがまだカバーできていない地域に勤務している医師の「困ったとき」の助けになれば幸いです。 ※長崎市、長与町・時津町、佐世保市、島原市、諫早市、大村市の情報が載っています。



各自治体のサポート情報が一覧できるから便利ですね。



一番困るのが子どもの病気。病児保育の情報は助かります。



- 各病児保育施設の連絡先、申込方法、料金、利用時間など掲載しています。
- 子育てを手伝ってほしいときのファミリーサポートセンターの一覧もあります。

冊子をご入用の場合は
お気軽にご連絡ください。



サポーターの声

私は、別の団体で保育サポートの登録をしていました。なかなか依頼がないので、保育サポーターをやめようかなと考えていたところ、そのタイミングで県医師会の保育サポートシステムの案内があり、もう一人のサポーターの方とともに、年長組の男のお子さんの習い事への送迎と医師宅での見守りをさせていただくことになりました。

その当時は、習い事から帰宅後は、室内や庭で遊んだりしておりました。ふだん運動不足の私にとってはハードでしたが、とても楽しいひとときでした。

けれど、月日が経つのは早いもので、そのお子さんも小学1年生となり、サポート内容も今では習い事の見守りと送迎のみとなりました。サポーター二人のあいだではときどき連絡を取り合い、またコーディネーターの方とも話をしながらやっております。

いつかはお役御免になる時が来る寂しさを今から思い浮かべながらも、その日が訪れるまでは二人でお役に立ちたいと思っております。

利用者の声

大学病院等でパート勤務をしている30代女性医師です。3歳と1歳の子供がいます。昨年9月の復職と同時に、主に長男の幼稚園から保育園への送迎で利用させて頂いています。

当初は「他人」に子供を預けることへの不安や罪悪感がいっぱいでしたが、2人のサポーターさんが大変丁寧に子供と接して下さり、当初の不安はあっという間に払拭されました。幼稚園のママたちの間でも「〇〇君のシッターさんがすごい」と評判です。何でも母親がやらなきゃ、と肩肘をはっていたけれど、色んな大人と接してかわいがってもらうのもとても素敵で大切なことなんだ、と教えて頂きました。

サポーターのお二人は勿論、私たちを繋いで下さったコーディネーターの方々にも心から感謝しています。マッチング後も丁寧に対応して下さいありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします！



医師からの嬉しいメール♪

おかげさまで子どもも1歳になり、最近は上手に歩きまわったり、出勤前にはバイバイと手を振ってくれたり、元気に成長してくれています。仕事の方も限られた時間内ですが、少しずつ幅を広げている途中です。(中略) 子育て中の若手医師の皆さんに、システムの紹介をしたいです。復帰に際して、保育園以外にもこんなシステムを利用することもできますよ。私は利用してとてもよかったです。

サポーター研修会のご報告

●登録をしたいという方々への研修会

平成27年度 第2回サポーター研修会

10月29日 長崎市北公民館にて 参加者 25名

講師：富永ちはる先生（長崎大学臨床心理士）
出口貴美子先生（出口小児科医院 院長）

●登録サポーターのスキルアップのための研修会

・わらべうたで遊ぼう

10月5日 県医師会館にて 参加者 16名

講師：山田ゆかり先生（リトム音楽教室主宰）

感想

子育て中に歌っていたのにすっかり忘れてしまっていたのですが、今回の研修で思い出しました。家に帰って子どもに尋ねたら、子どもはしっかり覚えていました。歌の力はすごいなあと思いました。

・子どもの救急救命実技講習会

11月27日 県医師会館にて 参加者 9名

講師：長崎市消防局職員

感想

救急のお話を聞くのは今回で4回目ですが、やはり年に1回は聞いておくと記憶がしっかりしてきます。機会ある毎に、参加するのが一番ですね。



「わらべうたで遊ぼう」のワンシーン

サポーターの皆さまへ

●登録から時間がたち、面談の折にお聞きしていた内容と現在の状況が違ってきた方も多と思います。変更届をお送りしますので、変更のある方はご記入の上、ご返送ください。

●サポーター同士の情報交換の場を、という声があります。交流会を企画し、詳細が決まりましたらご連絡いたしますので、その際はたくさんの方にご参加いただきたいです。

保育サポートシステムの体制・利用状況

平成28年1月31日現在

保育サポーター登録者	89名
申し込み医師	32名
サポートを受けた医師	21名

問い合わせ先

【長崎県医師会保育サポートシステム】

▶長崎県医師会

〒852-8532 長崎市茂里町 3-27 TEL.095-844-1111 FAX.095-844-1110 <http://www.nagasaki.med.or.jp/>

▶長崎大学病院 メディカル・ワークライフバランスセンター

〒852-8501 長崎市坂本 1-7-1 TEL&FAX.095-819-7979 <http://nagasaki-ajisai.jp/>